



畫譚雜助

完



子 4
3913



高陽先生著

千里必究

畫譚雞肋

全部
三冊

在土

崇文堂發行

昭和十七年六月九日寄
沼田喜雨太郎贈

序

有鄙夫同游名山者。其一曰。使之在
扶車轂之側。吾開舍其間。以司往來
之利。必不難於得富也。其一曰。梗梓
豫章。大可以為棟梁。小可以為鐫鐫
者。不知其幾千萬。而遠不能致之也。
是未始不欲觀於山也。唯其有見於



子
3913

利也。所以亂其思也。傳曰：耳目之欲接，則損其精。凡今稱能畫者，思殆且精，敗者從至，其心則謂是足以取大人之游而施名於一時耳。夫名從譽生，譽不博乎？則名不侈。苟要其博，惡得不從流俗所好乎？既與流俗同其好，則是流俗也。以若所為，欲出於流俗，猶

却步而求及前人，不亦左乎？故其輝然、煌然、穠然、翁然，因說人目以為奇化異者，皆觀於山之類也。且乎畫史之無風韻也，仲子和蓋進乎技者也。其好之不措，既已樂之，之至則喜怒休戚，榮辱好憎，曠焉忘之。不少頃于胸中，夫如然者，又何亂

思損精之有。今試使世畫史膠目塞
耳。知學斯文。亦必無如鄙夫然。則
子和之精。學子之所致。思之至。畫之
於詩也。同。子和又善詩。是其所以出乎
衆與。此編則其土苴也已。純卿性拙
於詩。而喜言詩。不能畫。而好論畫。
每見子和等斯二者。頗聞其發墨。

行筆之意亦久矣。世傳子和之畫。
或有不必然。蓋其為人不能峻拒。請
者麕至。求之大苛。有代為之者云。及
岩太初來。乞余言。次其所知。子和
以為之序。如此。

安永乙未之夏五月

金我井純卿撰

妙絶古人ははびすとりや上右ハ大善多之考工記ハ設色の工
 謂之画と特名小画ハ挂采色を以て地家よりかくともまハ古ま
 唐より呉道玄一変とてそと口共持たるとは方中さい一さいハ
 呉物なりといつ陳鑑が寫照法より階序之法方すさいといふ
 是より出の白描ハ細筆よりて画さふと用ぬは法なり
 かといは邦と右ハ傳つて中系よりハたれも白描と画
 うけるはえいそ感筆ハ梁楷ハ一む筆をまくをま判とそ
 かく今け方す画人物も水墨法
 (山水畫唐以前ハ筆法もゆるくては徳やうそは法拘研
 とそ徳も多人物といふたぐみを用ひて唐よりよりふ画

たみを月の中ふも王維李思訓の二人妙を以てはそあり
 この二家法宗とていふ画流二流といふ思訓も風骨奇峭
 ありて始用紙なりと王維ハ裁構画淡なる家ハハ神談
 あり王維の流ハ荆浩突合李成范寛李詭眠王晋卿
 董北苑米元章父子黄子久王叔明梅道人倪雲林趙
 子昂沈石田文徵明董其昌諸子こまを文人の画法とす
 思訓の流ハ夏陸趙幹趙伯駒馬遠戴文進呉偉張
 平山れともいふそは紙画師の風とす金碧山あり思訓
 ハハむ餘黄といふいろとて金沈小て急かきとける王維
 ハ宣淡とていふそ一何松鉄徐のふハ固外たきをぬくむ

唐画の精良多し。宋とて、その画師の多し。宋の余
 素人画と云ふ人も、唐の如く、画祖と云ふ人も、皆文士に非ず。余
 名画と稱するも、多くは画師のありしと云ふべし。画師の
 名、院號とて、文士に画をり、はいや、ゆゑに、
 〇花を画古と云ふも、名を成、成は、五代の末より、徐熙と
 黄筌二人あり。一汎、一わが、山あり。王季、二汎、あると。黄筌
 は、雲かき、こぼや、りて、美、成、り、ゆゑ、も、い、け、る、り、た、と、あ
 と、り、と、す。徐熙、ハ、桐、葉、を、肥、く、墨、を、用、つ、と、い、ふ、と、い、ふ、
 う、す、く、は、と、こ、り、も、も、の、神、態、と、云、ふ、と、い、ふ、と、い、ふ、俗、士、ハ、黄
 筌、が、美、麗、なる、を、好、び、雅、士、ハ、徐、熙、が、流、落、なる、を、好、む、と、い、ふ、

宋一統。黄筌をさだめし。徐熙のち、小め、さる。黄ハ、徐ガ
 画の言、逸、小、く、及、び、く、き、成、ね、く、と、唐、を、り、て、格、子、入
 ら、ず、と、奏、し、け、き、バ、徐、ハ、一、生、用、く、ま、を、さ、れ、と、も、言、尚、を
 ち、り、当、時、乃、俗、眼、と、こ、び、る、画、成、た、り、と、い、ふ、子、崇、嗣、ハ、志、も
 父、小、お、と、り、と、法、を、と、り、一、切、小、墨、筆、成、用、か、を、法、の、を
 を、か、り、ま、て、う、け、く、く、と、い、ふ、と、い、ふ、と、い、ふ、生、を、生、を、め、く、く、に
 急、か、く、是、を、没、骨、画、と、云、没、骨、と、ハ、墨、が、き、た、た、を、云、其
 後、劉、常、ハ、法、を、ば、り、小、く、と、い、ふ、と、い、ふ、一、筆、子、二、色、成
 そ、め、ま、ど、一、を、茶、を、と、り、け、邦、を、て、没、骨、画、と、云、一、筆、子、二、色、成
 劉、常、ハ、殷、仲、容、鍾、隱、ハ、墨、を、用、て、文、を、と、り、と、い、ふ、丘、葵、餘、ハ、

一尊子て草虫を画う。陳常僧布白。趙孟堅も飛白草
 小く雙鉤白描を画う。郭思画論も山ありを画う。上右
 たりもほせ小たくみをなせる多し。といへるもその白描ハ人物
 小云へるとい。双鉤ハかごうのりけり。飛白ハ元來思家の
 骨法乃名にほせハごうのりけり。又むも小蜂
 蜂虫をそへ画くを点画と云。山あり小人物をそへ画くを
 点画と云。点景とも云。山のありかごとくも。没骨山と云。
 又禽鳥ハ雌雄よくきけ。け方めてハ三羽五羽よく。宋の
 夏奕ハ鶻鷂をも。雄むり画くを俗流小そむけり。や
 徐と黄二人の画を古人評して云。黄全ハうけりやま。く。

徐熙ハうつーかたーや。そゆへ。徐ハ南唐乃。文士あり。め
 学文ひけり。人物画ハ俗士の胸中とハ。大小おとたるゆへ
 点画。筆才はかりてハ。うつーかたー。黄も孟蜀の画史
 みて。文学もたなり。たぐ朝廷家事。此事のみ。尺おほえ。
 風流乃類もすくあり。画格といや。そ。世人のありと云。
 よくかなふゆへ。自らうつーやす。記不あり。を時。沉南瀨の
 画多画。大き小たこなる。かまが画。甚たく。此とも。画法
 俗小して。格をそ。そ。うつーやす。畫風。それゆへ
 甚ひこの心人も多しと云。古人も画のやまひを論。俗
 なる。第一。小い。ゆへ。錢謙益。その。は。この

画を主人にて。そしり。里々く。バ。却て。喜び。いと云も。俗を
ぬけて。世人の好ふ。あはぬを知るゆへ。又山あり。伊字九の
画。格高く。蘭教の類。たましく。詩を。詠せるも。雅致を。
伊ハ。海。第の士。あても。あり。い。や。を余。高。船。境。い。つれ。も。雅
画ハ。三。ん。ど。画。法。も。山。あり。を。も。も。に。画。成。て。け。ち。藍。す
こ。も。て。惣。地。を。そ。め。紺。か。さ。の。そ。め。め。や。う。め。お。と。く。小
せ。る。も。あ。い。右。人。も。画。な。り。て。の。ち。け。墨。染。ま。く。い。海。城
ま。ま。い。画。乃。や。ま。ひ。こ。い。つ。め

○画梅も。唐の比。また。さい。き。墨。梅。祖。花。光。和。尚。之。
衡州。を。光。山。の。位。一。禪。之。識。學。と。も。小。你。き。人。一。方。丈。の。か。た

は。く。に。梅。枝。あ。く。う。ま。を。の。時。を。林。を。う。け。い。の。時。ら。あ。る
夕。月。下。の。疎。影。を。こ。こ。へ。入。り。て。墨。梅。を。急。か。く。う。す。ぐ。み
ふ。て。を。を。点。せ。る。か。げ。た。め。れ。い。ま。を。光。梅。と。て。た。か。く。と。す。
揚。補。之。ハ。圈。法。と。て。花。を。一。筆。小。ま。ろ。く。ま。ろ。く。氣。條。も。補。之。
妙。を。急。く。う。け。り。墨。梅。名。家。六。人。あり。一。が。を。光。補。之。の。二。人
成。宗。と。り。湯。叔。雅。ハ。倒。暈。と。て。地。を。く。ぬ。き。と。を。白。か。く
一。む。僧。惠。洪。を。阜。子。纏。め。く。生。絹。扇。面。へ。画。き。月。あ。燈。下
小。映。ト。宛。然。た。る。梅。影。と。を。

筆。條。と。ハ。枝。の。ま。ろ。く。も。は。な。ほ。小。の。び。立。た。る。を。え。を。も。本
を。も。大。筆。あ。て。一。筆。小。急。か。く。べ。い。を。時。ハ。墨。を。こ。き。う。す。た

をまゝに枝葉小急うき。枝もまがれる多く。むらぶら。二葉
小むびりの端まで。画きこころのホハ。俗流。墨梅ハ。白梅の
枝より小て雅緻あり。そ古きこ。江梅ハ。少人ハ。姑蘇小
め。まてはるう後に。汝州へ。まうつまり。宋晏元献の詩
み。若更逢。開三二月。北人應作杏。花看。そも。白梅を。は
ト。決て。又たる。さこ

○墨竹ハ。宋の文興可ハ。決て法をなす。夜の時を。あ
あかき。一。墨。こ。こ。す。き。小。て。も。も。て。う。う。と。こ。か。ち。程。く
奇法を。出。さ。る。ハ。与。可。く。東。坡。も。画。友。ま。て。与。の。と。一。辨。名。を。指。と
と。り。元。と。墨。画。ハ。古。人。も。蒲。教。を。好。と。す。夏。仲。昭。も。名。を。あ。れ

とも。法。小。か。い。る。不。多。く。古。人。も。院。画。こ。そ。一。ま。り
院。画。も。院。作。も。同。し。西。院。の。画。作。凡。と。云。梅。竹。を。も。ち
あり。西。竹。画。梅。と。ハ。え。り。も。寫。竹。字。梅。と。ま。り。梅。竹。好。清。潔。を。
画。人。骨。中。小。り。て。字。下。子。字。出。せ。ハ。倪。雲。林。ハ。碎。後。小。燈。下
み。て。竹。樹。を。画。き。聖。日。之。れ。ハ。竹。樹。子。似。也。似。さ。る。不。いた。り
や。り。う。う。と。こ。て。笑。ひ。ハ。戲。云。な。ま。と。と。墨。画。の。妙。解。こ
○墨。蘭。ハ。宋。ま。て。名。も。と。あり。任。道。ハ。石。小。そ。ま。く。名。を。今
せ。し。葉。ハ。梅。竹。より。ハ。事。す。く。れ。ま。て。急。う。き。や。せ。く。入。り。て。
眞。妙。ハ。ゆ。か。さ。し。古。人。も。好。法。なる。ハ。す。く。な。ま。ま。て。も。こ。り。一
○墨。菊。ハ。考。門。名。家。も。ま。く。た。ま。き。ハ。画。振。動。す。く。あ。た。ゆ。ん

右畫小舟の如きものこと争あるハ暴虎こと云。人を
命よごに辱くことを

○龍画ハ古人も。蛇腕のかたちを妙こと賞せり。全身あり
はまたる周のついで。三停九似の法も。全身を意かくるも。
陳所翁。牧溪子ハ。たまく首むり急うも。是すこゝありハ
る。固もあれども。是ハ碑の戦争も。就画ハ本ふに
何れと古人いつり

龍ハ雲を物として。画法をも自ら小人も。其説も。就ハ
地を頌せる名。周礼。卷龍氏も。けしむるのこゝにて。るを
や。なよ。役人こと云。画するは。さにあ。呉道子。鬼神の画。

東坡跋して。鬼神ハ尺ざれども。情態動止。鬼神ありと
之もま。是鬼神なる。成い。ハ。か。云。傳古。王庭
ハ。真就とて。互かけ。こと云。又今も。飛昇。彷彿たるも
見る。こと。驅蛇。龍。而放之。直と。蛇と。る。ハ。あ。と。ド

○獅子圖ハ。越と。ろ。よ。越。越。あたへ。て。遊。免。挑。擲。此
狸。ま。を。る。と。む。と。圖。本。が。固。ハ。虎。首。然。身。り。て。
黃褐。多。あり。し。と。又。獺。を。も。狗。を。も。僻。邪。と。よ。よ。温。邪。哉
さ。る。と。云。よ。も。か。よ。ぶ。と。を。日。白。澤。を。意。かく。獺。の。一。名。を。白
沢。と。も。云。り

虎。時。乃。人。屏。小。獺。を。意。かく。と。み。白。楽。も。既。風。を。う。れ。ハ

て。彘或屏小或か〜め〜と。集才小也。け方よてまくら
小。彘の字を或付るハ。是よとまきり

吼と云る。兎ウサギ子似て。友耳と云る。と。獅も。吼ウウ子ハ恐る
とぞ。明ミの弘治中。所セイ蕃ハより。猷ウせしと。偃曝ヤン談タン館カン小出ワ。

符フ語ゴ子。獅子シ吼ウるより。吼ウウの子あると。人ニあつと云る。と云り

○雷ライ周ウ回ク。一クと云る。傳デンへ。王ウ充ウ論ロン衡ヘイも。拳ケンぐ。山海サン經ケイ小。

竜リウ牙ガ人ジン類レイと云る。吳ウ之シ雷ライ獸ビョウ。け方ケも。を対タイと云る。て。うつ

中チュウ行コウせし。夜ヤ出シュツれ。虫ムシ小コ。大ダイ雷ライのノ時トキ。即イソク首ウヅ辨ハ身ミた。ふを。

双シュウ斬ゼンせしと。あれハ。雷ライ獸ビョウと。云る。山海サン經ケイ小。

○佛ブツ法ホフ僧ソウ考コウハ。亦モトと。深シ山サンす。む。梵フン之シ空クウ山サン小コ。と云る。空クウ海カイ

の詩。性セイ靈レイ集シュウ子シ出シュツワ。夜ヤ土ツ子シも。念ネン佛ブツをシと云る。ありて。是コトも

鳩トビたぐの。と。かたち。仏ブツ考コウ小コ似ニたり。佛ブツをシと云る。ゆ

声コエをシと云る。唐テイのノ章シヤウ蟬センのノ靜セイ菴ヤウ林リン飛ヘイ念ネン佛ブツ考コウ小コ句クあり

○余ヨはハきキに。異イ方ホウのノ禽キン獸ビョウ周ウをシ。教キョウと云る。中チュウ小コ却キョク火カ龍リウと。

火カ龍リウのノ周ウも。卻キョク火カ龍リウハ。後ゴ順ジュン宗シュウ時ジ。拘コウ弭メイ國クニより。猷ウせし

火カ小コ入ニやけずと云る。火カ龍リウハ。火カ山サンす。み。此コノ毛モウ小コて。火カ浣ケン布フ絨ジュウ

たると云。余ヨがガ一イツ周ウも。志シる。物モノ也ヤ。信シンと云る。然シカドモと云る。魏グヱイ

文帝テイハ。火カ浣ケン布フをシて。典テン論ロンをシと云る。と云ハ。曠クワンたるノ天テン地ヂ

寫シヤ怪物クワフツのノも。云クニハ。きキハ。火カ浣ケン布フと云る。

火カ浣ケン布フハ。火カ龍リウのノ毛モウと云る。と云ハ。外ガイハ。玄ヘン中チュウ記キ。齊サイ東トウ望バウ語ゴ。

鞣耕録。おま。樹皮樹根。或ハ火浣州。又ハ石峯中の練。あて
おま。と云り。又大紅火浣布あること。清人好書。ま。ゆ。江。み
なる。ハ。何。ま。お。り。た。る。や。い。方。も。石。岩。の。練。ハ。あ。れ。ど。も。
こ。じ。く。て。ま。く。廣。く。ハ。お。り。が。く。又。た。び。く。火。み。入。る。れ。バ。
ぬ。り。換。ず。と。云。ハ。真。の。火。浣。ま。ハ。た。ま。の。づ。べ。ー

○象。ハ。西南夷。ま。て。中國。ハ。西。徠。ま。て。見。た。ほ。へ。ま。ま。ゆ。へ。
象。と。よ。び。たり。夜。画。小。阿。ー。を。獅子。お。ど。く。西。か。く。ハ。真。象。
浣。尺。ぬ。ぬ。へ。け。方。ハ。い。き。小。後。り。て。真。周。を。う。つ。一。た。た。わ。
又。佛。ま。ハ。四。牙。六。牙。あ。り。も。ま。ま。と。云。い。わ。

○冠服制度。夜。山。ま。て。も。た。を。知。り。か。た。も。古。壺。小。よ。り。と。云。

論。せ。り。も。こ。の。衣。冕。ハ。典。刑。も。存。せ。り。常。狹。也。時。々。變。移。を。り。
二十。成。人。士。ハ。冠。庶。人。ハ。巾。と。あ。り。く。上。古。を。冠。巾。の。ま。て。あ。り。
一。ハ。淨。ハ。幘。と。引。也。是。ハ。朝。被。之。淨。未。ハ。幅。巾。と。雅。と。す。
冪。離。ハ。齊。隋。と。り。お。こ。る。幘。以。ち。後。用。小。り。也。烏。紗。帽。ハ
隋。ま。さ。く。ん。之。後。小。口。巾。お。こ。た。る。也。唐。ま。ハ。進。法。冠。因。頭。
官。指。巾。子。あ。り。又。三。代。ハ。彌。於。之。秦。より。紫。緋。黃。お。位。り。
あ。く。ぐ。ひ。袍。糸。を。と。り。の。帶。魚。ハ。唐。の。宗。ま。お。こ。る。履。ハ。三。代。
ハ。木。を。て。作。る。履。と。云。伊。尹。ハ。巾。子。て。作。る。履。と。云。周。ハ。麻。晉。ハ
練。子。て。作。る。靴。ハ。秦。より。始。る。二。世。ハ。鳳。首。を。加。り。小。西。晉。ハ
伏。鷄。を。く。り。小。古。服。ハ。黃。白。青。は。ふ。ぬ。し。緑。ハ。す。く。た。り。賤。

若し彼をよきとゆへと云。又衮冕ハ秦子ハ除きて用ひず
玄衣纁裳一をねん。漢永平中。古衣冠を案し。好く
ハ衮冕を復せしむ

○聖像也。文宣王小冠ハ唐より之。司冠像ハ本言るれ
とも。今の冠ハ漢晉服小。古よあはれ。顧愷之。吳道子。
五維おれ。周あり。闕里法も出づ。玄端。章甫。方象ハ。昔ハ
殷人也。生于宋。故子服章甫之冠之。殷ハ。德。黒。さ。た。り
孔叢子。孔子思の先君生れ。無。纁。肩。於。云。小。り。吳
道子乃多。後の周。成。ぞ。し。き。る。も。あ。り
先聖像。文宣王子封。一。聖衣冠を。徳。之。爵。を。統。の。人。城

文宣公とよ。宋。小。いた。り。祖。無。擇。奉。一。文。宣。を。溢。之。
子孫を称す。き。小。あ。は。れ。と。あ。ま。よ。一。衍。聖。公。と。称。せ。り。
聖衣冠ハ。世。小。た。え。ぞ。い。つ。も。代。り。爵。を。封。一。闕。里。ハ
檢見も。た。り。孔。廟。ハ。附。せ。ら。る。半。之。又。明。也。孔。福。祿。を
聖衣冠。之。西。を。も。善。一。世。小。傳。也

○僧服ハ。空。彼。方。衣。なり。一。之。方。衣。ハ。袖。急。と。た。く。一。用。子
ぬ。お。た。る。と。う。ハ。下。小。して。身。引。よ。と。ひ。た。り。の。之。を。七。条。小
と。云。く。ハ。一。き。割。法。ハ。南。海。寄。帰。傳。お。も。こ。も。ハ。本。蘭。之。小
黒。衣。之。の。三。条。也。有。よ。いた。り。武。后。ハ。僧。像。を。也。也。一
梁。國。公。小。封。も。其。時。空。彼。ハ。朝。廷。列。坐。小。足。く。一。也。ゆ。へ。大。被。の

獄と云く地苑菩薩本願經淨度三昧經正法念佛經
 阿地獄經水あくくときて。吳道子ハそれ誠あつて
 之なる急うきと思はる。ハ一絶ハ愚民のいさめともなり
 一ハ。醉醜乃吏ハ图中刑具なるひ。おちハ民のくらし
 之をませしといハ弊もあれハ
 俱生神ハ經説子ナリ華嚴經ハ。有二天。一日同生。一日
 同名ともよりあり。然り出せる小や。此方にも。古代唐人の
 地獄圖誠意かきし。と云く又。唐人ハ夫人なきをバ。お
 ち。ともくひり。くむけ方にも。外人を惹くぬハ愚民
 用たりたるを魚かくあるハ。

○醉僧圖ハ張僧録ハ。決て画かきし。流道士ハ此圖ま
 像造とあざける。僧造ハ又。圖立本ハ。破道士圖を乞えて。乞
 小。道士誠あざけり返りたりと云く

唐土まで。律よとる。僧とたるをゆるせしハ。魏の黃初ハ
 比。魏武西征の時。もあつて僧造。あつたり。海のむね
 として。酒ををけり出。くくを。誅せしと云。をまいたあ
 てハ。破て。おち。ひ。い。ん。有。僧。懷。素。ハ。州。書。子。妙。なり。
 みづ。く。く。醉。僧。圖。を。乞。か。き。し。と。宣。和。画。譜。子。出。つ。結。あり。
 董其昌。魏。時。堂。法。帖。子。載。り。人。く。送。德。不。曾。活。終。日。松。写
 挂。一。壺。草。聖。欲。求。狂。便。死。真。堪。画。作。醉。僧。圖。

○唐画小女の足をちひさく煮かく。女子はいとけたるをこらり
纏足とて。きぬふてまたうごめチヤカ小く。引れそりたるじき
なりしむらキツカ鞋と云ふ。上右みたる。周礼屨人キヨゼンも。女子の
屨ツツ小なる。こはなし。淨衣キヨイも。たのまゆへ。淨鞋キヨセ奉秘辛。
中華古今注おも。女足はすいあれとも。纏足チンソクハカク。南
唐の宵娘ヨウロウハドまるこハ。法法もあり。輟耕録クワクレンハ五代
以来たのまこと。熙寧元豊のあまてハ。すくぬかりし。と云
これたのまぬ鞋チノセはちとけとあれハ。元以來さうんく。と云
考人コウジン又云。きんつうキントウ女メれレと見へ明乃メイノ高皇后カウクワウの
足タラシ方カタも。試太祖シタソのたりタラシあまア笑ウツひヒ孫ソンも。けケ后コウハハ足タラシいイヤヤ

かりしぬえ。清の康熙カウキキも。淨足キヨソクの禁ありしと云く。又夜
画エハ。額ヒクひろくヒクえくハオ才サイ女メハ。ひたわひろけヒクはハけケ方カタも。夜去ヨクの
女子ヒメ觀ミせセゆユくクあアけケるルハ。口クチけケをヲあアぬヌゆユなナらん
○襪ワクハ。足をヲかカさサきキぬヌじ。白シロいイぬヌわワうウして。鞋カウハ。涼スズ江カウも。
たタるルへヘ。襪ワクいイわワハ。底ソコありリて。鞋カウなナくクてもモ歩ツせセしシもモや。
羅襪ラハク生塵シヤウジンともあり。にニきキまマてもモ裂ヒれレ。楊妃ヤウキヒの錦襪キンハクハ。
玄宗ヘンセンれたレりリあアれレるルしシともモあアるル。ほホ小コるル魄ハク記キありリ。老媪ラウオウの
ひろヒロるルもモあアるル。ほホせセハ。男子ナンシハ。足タラシをヲ襪ワクとシ云イフ。女子ヒメのハ。襪ワクとシ云イフ。
○女子ヒメハ。耳ミミハ。環カンとシ比ヒたるル。晋唐シンタウ乃ナラバ画エもモなナるルとシ云イフ。
ほホせセハ。おオこコるルとシ云イフ。也ヤ。莊子シュウシに。天子テンシのハ侍シハ。尻シツをヲきキしシんン。

母をうがくまるとも。そのこと中絶ふ。法尊格のしと紫。
み杜清あると説くも。上右のめしありといひ。又娘人
のゆび小入る環をハ戒指といひ

○夜山あく人の面をうす浅。寫照とも。傳津とも。寫真
とも云。人物家お娘をうす人あり。江戸までハ。銭子の面を
うすいあれとも。稚画ハ。妙手ハ。うすも。友人ハ。みづから
畫師ハ。こひて。字とことあり。三十歳小みくさる人も。精魂
代ハ。はくゆく。うすぬりのえと。俗士ハ。えとや。伊川先生
の家。少原影帳。蒼沢福郎像あり。一画師たりしとに。
ゑかき何と。うす小。まじふく。若死ハ。死せり。家人ハ。あつて

画譜

ふ説せりと云。先生ハ。人壽長短ハ。定數画けよくする不
有らんやと。竊ども。ひいと云。家世舊事ハ。みかたり

明の五叔ハ。ある武夫像をうすにけ人左乃。眼眇なり。
武友の像も。石ゆみ。成はふちて。左の目をぬさぎたる
を急めき。瘡面をかくりて。くまハ。大に。ねびいと

○祝壽園ハ。人の年壽を賀する時。東方朔。西王母。壽星
或ハ。松。又ハ。梅。竹。おと。急き。たくる。壽星ハ。赤き人なり。又
あき。残れくる小も。画き。うすく。わくる。りきり。後。松。柏
を急かく。松。柏。と。送別の音。通。以。咽。み。おくる。ね。こ。も。ま。と
○画。あ。孫。位。た。く。と。を。ハ。む。う。つ。ば。ま。か。べ。な。ご。に。終。お。を

急かくも、回しきこと。此方にて、京福寺の仰板。兆殿主ハ
蟠龍を画し、水ハ火龍と云ふ。水ハ火龍と云ふ。水ハ火龍と云ふ。
常州太平寺仏殿。徐友グ画あり。兵火をのがれしと。
又趙州柏林寺。吳道子画水あり。石刻となし。はりく
火と云ふ。け邦小。鶴を圍つて。せしと云。のち
梁のあたり。汁あり。多龍を画ひて。又画ありた。
更なると云。今ハのちわと云。

○張南本ハ孫位と云ふ。其代あかく。孫子をよびかた。改め
て火代と云。妙といふ。不動の像ハ。奇異ありと云。

高陽先生著

門人 岩處和 抄録

西譚雜助上終

画譚雜助中

○鍾馗ハ玄宗の夢。虚耗といへる鬼也。鍾馗と云ふ
姓。吳道子画あり。一めりといふ。人志れ。鍾馗とい
蘇葵と云ふ。古來一大神の権小。小鬼と云ふ。ころ
画あり。齊人ハつちを蘇葵と云ふ。蘇葵ハ鍾馗
音同し。文人のたり。鍾馗道士傳。鍾馗ハ
玄宗と吳道子を合せて。云出せり。又虚耗ハ冥之神
と云ふ。人志れ。蘇葵と云ふ。蘇葵ハ鍾馗とい
石恪ハ。宋氏妹。鍾馗と云。孫知微石恪ハ
鍾馗の鬼と云ふ。鬼と蘇葵と云ふ。鬼の臉と云ふ。石恪ハ

西譚雜助

ちまう。園中。皆。瀟。々。あり。と。也。也。も。園。折。俗。の。事。ハ。又。あ。く。の。の。は。と。此。方。ま。て。名。賢。道。釋。の。像。を。も。た。い。ま。さ。さ。る。さ。ゆ。に。急。か。く。人。あり。輕。薄。不。敬。の。事。い。ひ。ひ。に。く。む。あ。り。又。朱。鐘。地。ハ。疱。瘡。と。赤。き。を。用。ゆ。り。より。け。方。ま。て。画。き。せ。し。運。大。惠。の。類。よ。て。こ。け。も。な。れ。り。○。五。昭。君。の。時。胡。國。と。和。睦。し。胡。を。擊。つ。と。言。人。王。牆。を。た。ま。し。園。之。貞。誠。の。侍。す。ハ。毛。延。壽。と。る。上。は。昆。臣。を。ひ。ハ。胡。へ。け。り。海。を。志。た。ひ。か。あ。り。て。浮。す。家。を。さ。げ。明。妃。曲。と。て。う。た。ひ。物。小。せ。く。と。い。ふ。事。也。○。昭。君。の。明。妃。と。い。ふ。昔。も。て。司。馬。昭。の。講。を。よ。け。て。ら。り。の。ち

け。ま。よ。と。も。な。り。ハ。せ。り。昭。君。の。墓。ハ。い。わ。く。と。り。東。家。と。云。今。と。遠。く。の。そ。伏。ハ。蒼。茫。たり。と。云。石。梁。小。某。剛。氏。之。墓。○。蒙。古。書。り。て。あ。り。と。あり。と。云。

○。李。太。白。逸。流。園。あり。太。白。一。生。狂。逸。の。事。と。あ。つ。伏。子。昇。之。の。り。が。た。は。く。小。正。年。と。い。ふ。事。采。石。掬。月。お。も。な。り。采。石。の。り。ハ。太。白。逸。小。正。ひ。て。舟。中。に。て。あ。り。乃。月。新。詩。と。い。ふ。園。に。は。と。き。あ。り。落。て。死。せ。り。と。い。ふ。傳。へ。梅。聖。俞。の。詩。ハ。鯨。の。り。昇。仙。と。作。り。彩。を。書。ふ。ハ。殘。死。の。り。ふ。く。舊。唐。書。ハ。解。死。于。宣。城。と。云。也。と。も。文。集。の。序。ハ。族。家。也。と。云。乃。水。の。文。と。て。公。の。疾。亟。た。る。と。云。也。枕。と。小。令。と。い。う。け。て。か。き。

いゝあれバ。やまて瀟下小死あるのうらみ

太白ハ彰明縣青蓮御子生る。俗て青蓮居士と稱す。

○虎津三笑國ハ僧惠遠陶淵明陸脩静と云。石格の西小

東坡題して。之人皆笑ふ。衣服冠屨もむすまで皆奇なり。慈心

有り。一の孝子。周知大矣と云。此人の名はさだに。二人の名は

余せし山谷。そは蓮社傳なども出来たり。遠公と。脩静

ハ同村にあらず。脩静ハ遠公に於て後。三十余年うて。ハトめて

虎山ハ山と。淵明と云ふ。廿年におくられたり。志操同一に

たり。九のハせしむ

○寒山も。虎真縣の。岩と云ふすむ。俗く号す。凡

拾得ハ豊干禪師。五台の道めて。むろひ坊より名付く。

を干ハ天台國清も小住し。髪をきりて。まゆとひとし

ぬの衣成して。虎よりて性来り。寒山拾得ハ二人つとに

身をたづまへ。たよわひし。を干とハ道を論し。又拾得ハ

まと道を論し。はつき小て地をはきし。とあり

まとい拾得とに符を著し。詩中小道をときて。奇逸之

○十六羅漢を。十八人小忍かく。新羅ニ云ハ。画師をへ入し

ん。又尺迦温染像ハ。樹傍ハ杖鉞あると。小兒嘗ハ。茶

たり。茶とく。せしむ。佛徒ハ。陀念と云。禪をり。

杖とつ。念哉と云。ゆハ。杖鉞

路史ロシ小にもゆ。其画シを春情シュンシヨウたるを。希王シキのはくも
うつしこや。上右の哀冊文アイサツブンも。ほくしゆるん

○耕織コウシキ図。唐土トウツいし一八守令の門を画シる。民をすめ吏シたる

のふも。其本モト誠志マコトシしむ。宋高宗ソウカウソウ即位して。天下テンカ勅シクを
詔ミコトノリあり。樓瑤ロウヤウハ於潜オカゼン此令コノノリめてる。耕織始終コウシキシヨウを四十餘
條ヨシヨコを各詩カクシを題トクと。初ハジメめされては。この二圖ニツを。上
進シノブし。其ハ賞初シヤウソありし。忠國ハ浸種シンシュウより登稌トウロ
まで。織オリ圖ツハ浴種ヨクシュウより剪帛ケンパクまで。條ジョウをこから初ハジメと題トク
せ。ハ。其ハトめ。仁宗ニソウも。宝元ホウゲン乃初ハジメ。延春エンシュン各子カクシ。二圖ニツを画シ
か。めり。其ハ。ことあり。康熙カンシ帝テイも。二圖ニツを。下シタに。し。め

画冊カクサクとあり。序シヨを附ツケし。羣鳥グンニョウ一ヒト多タよひしと

畫圖カクツハ。鳥斯ニョウシ苑國エンクニの。仲像チュウゾウと。まづ。を。題トクく。是ハ。輪迴リンカイ
と。名ナする。仏ブツなれハ。春ハル種シュウハ。輪迴リンカイあり。ゆへ。を。海
の。まに。似ニて。多タく。け。方カタハ。この。像ゾウハ。あ。ご。た。し。を。
耕織コウシキ二圖ニツを。画冊カクサク画シと。大オホして。樓瑤ロウヤウ乃初ハジメを。題トクせる。を。
ま。し。の。度タビ出デし。女メを。嫁ヨメする。時トキ。この。二圖ニツを。か。し。む。け。
方カタに。て。源氏ゲンジい。せ。百ヒャク人ニン一ヒト首カビが。し。む。ご。し。その。ゆへ。
名ナを。賦ヒツいつり。し。も。多タく。凡ソラそ。畫画カクガクハ。此ココに。似ニせ。ハ。唐人タンジンハ。こ
の。い。つ。も。小コき。度タビを。画シをか。ひ。り。こ。なる。人ヒトハ。事コトを。知チり。
眼力ガンリキある。人ヒトハ。其ソノ真マコト仍シを。画シす。ハ。宋高宗ソウカウソウ後ノチの。後ノチハ。曹勳ソウクン

院六洞の二人の画を以て之を任す。二人とも小学識あさく
目力さくさうもほく又あやま字たりと云ひ方までと
夜土仕事ふいと人ハ。涼々味もたなく。大がいに名紙
つけ。又画風ワ。好まそむけること極あつたこと云ひに
なり。真物の空ふすころも多々。余。下記時代は
元あやまりたること。見せり。ある画人。薩摩の傍。秋月
の画をえ。是ハ加う秋。秋月あり。中画の画と云つら。がう秋
月たれば。顔輝のり。名ハ輝。字ハ秋月。顔ハ元人まで上
画。僧秋月。名ハ秋。ハあらず。又牛画ハ胡大年と。虎ハ毛松
と。魚ハ李鱗と。名を付けしと。もつたり。何ゆへに。目きこ

し。毛松ハ宋人まで。むをよよく。胡大年ハ明人まで。
葡萄ハ好々李鱗と。明人まで。仙佛もたなく。けし人の。牛
魚の名ハ。又名なき。有画。ある画人。めを。し。や。て
る。土名画乃名紙を付けて。わづ下を。下へおいた。
古人の画。あともより。みたり。ふを。かきつけて。わづ下を
おひす。夜土目き。法ハ。た。事。
僧秋月ハ。周文の画を志たひ。周月と名付く。のちに新
輝の佛画を。よく写し。け画。志たひ。字を秋月。
かき。あ。た。め。し。と。古。人。を。志。た。ひ。て。そ。を。用。か。り。は。
土。名。を。し。と。い。た。り。け。方。ま。く。ハ。何。の。花。も。也。佛。匠

姓名乃字をきり用ゆること。その字をば流流の
字あるとま祿たるや。或土まてい君父作れどとき。その
るこの人の名れ字はよけて用ゆる。是れは緯と云む。そのて
いみよ、そのあことして平生は文ふも。その字をばよけ
て用ゆるぬるこ

唐人と画の上中下とわかち又神品。妙品。能品と云ふとあり。
逸品は神品の上より是たり。各代名人の中ふも。張志和と
盧鴻の二人は逸品はつゝとありと。唐人といつゝこの二人
字は隠抹。右今に照映し。言尚なり。そのさりと思われ
ぬ。今時放浪なる画をたし。拙きをかくせば。傍人の逸品

なりとてさやれと云。小本はやらんずと云。一。創造義
陳道復と云元義也。逸品と云せしき。稱量不平たり
そしりより。画ハ奇巧成なりて。後ハ造化と仰とせよと
おへたるか。かゝる弊をすくへし事

○け方。画史のハト欠ハ。大岡忌寸男竜。雄略帝の御と云。小
の化也。武烈帝。其画を賞し。姓と録すと云。又倭画師と云
ハ。忍勝に。姓をあつた。欠て録しと。是ら國史の。拾芥抄
小。喜日法所のより。古々奈良。宅間。住吉。栗田口。等。法
所ありて。おほく。佛像。或急かくと。國史。小。法佛。作と云
○宗。衣。及。其。子。ハ。上。古。より。夜。まで。の名。を。巨。勢。金。岡

五かき。賛河ハ小室道風也。其は。今世の画をうつ。賛河
ハなく。画像ハ姓名を。道風ハ書を。其は。是持明院御
家。法如也。と。り。や。大学寮先聖像ハ。夜画の画ハ
て。今世の。と。り。古。今。著。少。集。子。出。つ。淳。子。画。も。今。世。思。急
か。き。ハ。古。典。刑。成。存。け。ん。又。ま。ほ。し。き。ハ。姓。名。ハ。今。と。道
風。の。書。を。う。け。し。玄。宗。ハ。分。小。似。て。巧。妙。な。り。

大内裏乃制ハ。夜。時。小。な。り。淳。子。を。夜。の。凌。烟。閣。に
擬。せ。り。西。海。子。ハ。功。長。を。麒麟。客。小。な。か。く。長。樂。を。あ。ら。
亮。舜。と。画。か。き。後。淳。子。ハ。法。部。門。に。畫。く。又。家。法。子。孔。子。
周。礼。明。堂。四。門。墉。小。亮。舜。成。急。く。周。公。ハ。成。王。を。た。す。け。

南面して法儀を朝せしむる園を。見えひり。と。あれ。ハ。
上。右。あり。と。急。く。き。し。し。し。後。淳。子。の。真。影。を。東。觀。子。急。か
き。学。志。を。す。次。ら。ま。金。日。碑。の。母。死。せ。る。時。詔。あり。く。甘
泉。宮。小。画。き。し。と。も。有。り。婦。人。を。急。か。き。し。ハ。是。ハ。ト。次。之
○。後。淳。子。ハ。御。者。あ。り。し。時。あ。つ。源。信。実。小。命。ハ。坊。列
園。に。画。か。し。次。玉。ひ。し。是。ハ。白。傳。園。に。画。海。ハ。唐。土。小。て。も。名
画。也。急。か。け。ふ。あり。画。ハ。楯。を。外。と。し。行。列。を。急。く
急。く。と。ゆ。く。画。海。と。も。と。も。又。画。ハ。鼓。を。坊。列。を。鼓。を。あ。り。く
と。の。ほ。る。と。も。又。画。ハ。鼓。を。坊。列。を。鼓。を。あ。り。く。と。も。周。氏
畫。影。小。ハ。画。ハ。楯。を。坊。列。を。鼓。を。あ。り。く。と。も。蓋。は。こ。の。の。

画譜雑考

スーくおこぬため小まともなり

け方小て事れ先み塩水うつとがふるよなしくるおや

○け方上右み貞仁公。此を初常則。巨勢金岡相見。公忠

公望。子枝。おと余。旧記。名れさす之し。西へんくも。傳家

み。知け大海。おと人。志れり。吾画も。言望山。東寺。およも。

画法よりと云。智澄。慈覚。兩大師。慧心院。傳却。安外。曇芳。

鉄舟。一休。五極。の法和尚。日蓮上人。おと西よりと。可翁。如拙。

兆。飯主。啓書記。周文。雪舟。秋月。雪村。おと粹をぬけり

○此方上右画法。金岡れともが。唐の法の法小よる。細筆

小て。人物道釋をさすとも。唐画。北条氏のころ。

傳法。元へわたり。宋元画法。成りて。墨法。の法。成りて。

如拙。いさなり。牧溪。を法とす。周文。ハ出。益。成りて。類あり。

雪舟。成りともが。そより出て。管中。紫の名画。雪舟。ハ明

めく。李在。小學。よ。李在。ハ。夏。種。馬。遠。成りて。おと。豪

放。をよろこびし。雪舟。ハ。峻。成りて。くりよる。小。牧。法

の法をいそ。牧。法。ハ。筆。に。おかく。を。この。禪。様。を。よ。法

こぶゆへ。唐。熱。し。て。右。法。なく。雅。玩。小。あ。く。は。と。右。人。を

そ。し。れる。こと。なり。画。法。流。れ。を。さ。く。ぬ。人。ハ。雪。舟。ハ。李。龍。眠

小。よ。り。て。意。か。ける。た。り。と。云。ハ。大。なる。ふ。ひ。ぐ。こと。と。龍。眠。ハ。五。維

成。り。小。て。文。人。画。法。と。成。り。の。吳。道。子。と。敵。を。べ。し。と。云。吳。ハ。大。画。ハ。

いよく峻高きと。龍眠ハ。びごとぬくと紙へ小画銭なりて。
画師ハ流を巴塞ぬ人。雪舟ハ大画小たくみ。ついで禿
筆みて。どうとある紙へ。五ヶけり。山ハ皴皴も。大斧ハ。え
龍眠とい。画法こやぐも。ちとなるもの。を時ハ昇平の化
浴。何の藝も。本源を。しづり。典雅哉。とむるよ。画記
をもよみ。文人画法をこの。尚とむ人もあれども。家も人
を根柢うすく。古人の。も。れせ。おとく小もな。一
をもうか。い。ず。てやみぬ

○け邦の画を。夜出まで賞せ。ハ。馮永功ホウエイコウガ。小景山水
一幀あり。日本画まで。李思訓リシケンハ似たりと。米元章メイシヤウ云たり。

上古ハ夜叉ヤウシャ学べるゆへ。かくあり。一。小や。思訓ハ。唐時の山
画祖。是。小比せ。ハ。大よ。考べる。と。おと。郭若虚クワクワ。鄧椿トウチンも。
扇面の法を賞。中国乃善画も。或ハ不能也とい。上
古ハ。け。方。け。画人。お。け。ハ。文雅なり。一。ゆへ。その画も。さ。妙
なり。らん。又。倭僧。多。能。画。墨。観音。とい。へ。も。元。時。ハ。僧。持。
は。来。せ。一。な。ま。ハ。後。海。せる。ほどの僧。ハ。あ。す。り。卑。俗。な。り。
と。ある。ま。じ。唐。景。風。謝。肇。淵。ハ。え。たり。一。法。ハ。文。言。ま。て
かん。が。あ。れ。ハ。畫。画。な。ら。ん。と。思。ひ。る。画。法。ハ。小。あ。ら。は。畫。墨。と。ま
倭物とあやまりて。賞。あ。一。と。も。多。く。こ。ゆ。れ。ん

雪舟ハ。明。つて。太祖の御容を写。一。礼部院の壁。小画

かこころと云傳ふ。明ハ代もちうく。明もたおほくはりて。日本
 微細ビシのりまで志す。雪舟は西よりわき。沛容。
 院ぬおほ。小まにあらざれ。志す。傳ふべき。いさかも。
 そまとおほ。たよな。志するに。そ時乃画師。李在。小
 まあびしと云へ。か。家。畫。筆。成。外國の才子。未学の
 とまがらに。急か。む。き。小。あ。ら。げ。は。け。方。よ。て。雪。舟
 は。西。域。賞。す。る。あ。ま。り。何。や。ま。り。傳。へ。た。と。あり。

○上右。言氣國と云。師。林。呂。傳。墨。徵。百。信。國。あり。白。加
 西化す。善。畫。た。る。こと。國。史。小。之。也。宋。時。言。氣。國。李。寧。少。ハ
 善。画。よ。て。仁。宗。ハ。賞。を。え。し。と。云。朝。録。ハ。好。尚。カ。け。り。

一。や。船。使。よ。志。か。ひ。来。る。画。負。小。妙。手。も。思。く。も。画。は。ハ
 北苑。雲。林。石。田。水。と。云。ふ。と。云。し。と。す。け。ど。け。方。ハ。お。お。り。と。
 風。出。と。な。れ。ハ。書。画。と。も。に。彼。出。一。種。ハ。流。風。あ。れ。と。
 朝鮮人來船のとき。書画詩文題名の上。東華。ある。ハ。ハ
 小華と云。是ハ。清ハ夷人なれハ。中華ハ。朝鮮と云。ことと
 のや。然るに。お。あり。中國人も。中華某とハ。か。す。ら。ら。よ。ト。
 是。も。か。ま。し。け。方。へ。は。こ。る。と。後。之。か。ま。し。ふ。お。び。や。う。と。れ。と。
 東華某君へ呈す。な。と。く。お。た。く。り。も。ま。し。と。す。く。何。と
 ころ。え。て。か。ま。し。お。し。小。や。大體。小。晴。ら。と。と。云。し。又。か。ま。し。と。
 詩。文。系。に。号。と。お。き。て。け。方。の。人。へ。た。く。る。性。時。と。其。の。家。ハ。字。

下をくりおて。書を増り。それとせめ同い。善なるなりけ
 り。そは。書法をたぐい。来るを。又朝鮮人。あるは。倭へ
 来る。商船。おみ。訖し。書画。詩文。を。序文。おを。よ。人。あり。
 来。船。の。一面。又。ハ。万里。外。ハ。めて。通。せる。人。の。傍。場。を。得
 たり。と。て。羨。と。す。べき。ふ。も。あ。ら。ざ。ら。し。何。人。も。や。商。船。の
 訖し。清。の。老。儒。沈。帰。愚。へ。詩。を。た。り。和。を。と。たり。何。愚。ハ。
 私。小。虫。を。通。する。ハ。國。禁。た。る。と。して。詩。或。返。て。そ。の。依
 て。高。船。凌。ハ。いつ。り。て。和。訖。を。化。り。め。ら。ま。り。て。そ。人。を
 あ。ぎ。む。さ。ける。ほ。小。島。愚。死。し。文集。せ。小。せ。に。集。中。し。
 日本國。某。詩。の。和。を。と。た。れ。とも。与。一。奴。よ。一。誠。志。し。

みつゝの一首作りて。詩中ハ。あぎけり。輕んせる。意。誠。
 のべたり。そ。ま。て。高。凌。の。いつ。り。何。り。を。た。り。え。来。そ。外
 邊。絶。た。地。へ。來。り。貨。利。を。り。と。む。ると。か。つ。あ。れ。ハ。か。る。と。
 ち。ま。べ。し。稱。人。言。士。女。來。こ。ま。ふ。あ。ら。ば。商人。とい。ハ。賢。愚。の
 差。お。も。な。い。し。と。汝。を。さ。る。ハ。た。ろ。か。な。る。こと。
 ○ 猩。ハ。雲。南。小。生。を。海。と。腹。を。並。き。積。て。取。を。は。く。と。き。
 ころ。よ。と。云。朱。麗。も。猩。血。を。そ。め。ると。云。ハ。夜。山。も。云。り。強。く
 みのり。あ。と。ハ。曲。礼。又。ハ。山。海。經。荀。子。お。小。い。が。や。南。武。平。は。
 あ。こ。り。も。後。を。ハ。封。入。り。て。中國。の。人。も。生。來。す。と。云。ま。
 猩。の。拍。いた。を。ハ。吹。う。と。り。也。崑。崙。兎。よ。く。ぬ。す。む。と。云。あ。

乃。知孝へ賜ひし

○福祿壽とハ。福人。祿人。壽人の三人を。何ハせ急かける名。け
方子て。か。ら。長。き。杖。福。祿。壽。と。云。ハ。あ。や。ま。と。云。ハ。元。なが。き。ハ。
壽。老人。云。ハ。三人。と。云。星。女。圖。と。云。云。是。洪。紀。の。疇。華。封。れ
祝。と。り。急。か。さ。ハ。ハ。ハ。又。壽。き。人。小。蝙蝠。と。鹿。杖。そ。へ。急。う。と。
た。る。も。あり。福。祿。壽。乃。圖。と。云。つ。蝠。と。福。鹿。と。祿。女。音。
通。す。と。ハ。ハ。

○阮仲容曝猿鼻禪。因小竹竿。子。收。帛。と。急。く。ハ。あ。や。ま。り
禪。ハ。今。の。ハ。ツ。子。小。似。て。み。一。加。ハ。人。身。兩。膝。下。有。穴。猿。鼻。と。
名。付。く。と。も。猿。鼻。へ。と。く。は。ハ。里。ナ。リ。と。云。

○子路負米と。米たり。う。ま。て。ハ。た。う。う。べ。一。米。臺。養。子。西。う。く。べ。一。
ふ。く。ろ。の。口。と。急。く。ま。て。蟬。う。は。は。ら。と。ち。り。た。る。が。粟。栗。を
た。ち。り。た。る。た。ち。に。似。た。る。う。け。一。た。む。を。米。臺。養。子。と。も
よ。り。又。攝。衣。の。圖。六。朝。乃。西。ハ。女。む。か。ひ。立。て。一。の。き。祿。杖。
二。人。と。り。た。ち。な。が。く。杖。杖。の。今。村。田。舎。小。て。米。る。ど
つく。小。似。た。あ。と。字。林。子。直。春。と。云。ハ。是。ハ。ば。さ。ハ。さ。ハ。せ。ず
○陶淵明の琴に。弦。を。画。か。く。急。う。と。急。う。と。急。う。と。急。う。と。急。う。と。急。う。と。
な。ハ。此。方。小。く。急。う。と。急。う。と。又。急。う。と。急。う。と。急。う。と。急。う。と。急。う。と。
菊。ハ。文。急。う。と。急。う。と。急。う。と。急。う。と。急。う。と。急。う。と。急。う。と。急。う。と。

菊ハ。文。急。う。と。急。う。と。急。う。と。急。う。と。急。う。と。急。う。と。急。う。と。急。う。と。
菊。ハ。文。急。う。と。急。う。と。急。う。と。急。う。と。急。う。と。急。う。と。急。う。と。急。う。と。

もすくふかりしや。許棠も人間稀有。此自古乃無詩と
 作す。花経小。九華菊ハ白くして。潤の賞せしといふハ
 其穠なるん。又白菊ハ日本小きしと。范氏菊譜に出つ。凡そ
 菊と歌ふ詠せしハ。桓武帝時ハ一めと。旧紀にもさゆ。
 菊のいふしより。此方ありしといふかきま
 ○林和靖を。其の冠被小五かけ。け方よら。林ハ生つかへば。
 聖被小五かく。一。双窟とや。ちひ。孤山ハ梅多く。十詠も
 梅鶴とそへ急かき

隠士の用小。鶴あると。林との。ふ人。屋山ハ次士ハ
 鶴とや。ちひあり。明乃孫太初ハ。家まつ。友人。詩

九杞ハ米城たくり太初ハ。鶴田券と書し。あ
 ○七福人ハ。七福即生と云より。ちく大惠。比漢ハ大貴己。
 事代主の二汁と云。今ちく。天竺の火急汁。と。竺の大寺ハ。
 食厨位ハ。かたはく。又ハ。お花ハ。およ。大惠汁。と。安曇。汁
 をいへぬ。くひて。ちく。と。た。か。ら。と。い。の。く。大惠神。林。漢。子。を。
 莫訶歌羅と云。又。う。ら。出。つ。ち。と。云。し。新羅國。旁。厄。と。云。
 の。山。中。小。て。金。の。権。を。さ。て。た。か。く。成。う。ら。出。せ。り。とい。ふ。と。
 漢。南。陽。羅。廻。小。を。と。す。何。い。せ。て。五。か。け。を。白。衣。祿。す。み。
 誠。急。か。く。は。現。小。も。明。も。も。ま。く。出。し。ハ。出。北。な。り。し。と。と。
 又。布。袋。和。尚。ハ。煙。山。寺。乃。僧。も。清。儀。を。み。た。ら。寺。と。た。ひ

出せしに怪異あり。よひくせば安物こと云ゆへ。寺に後
とせよと常人の家者送下りらゆべき事ハナシ。

○波夜天計の像ハ林和造を所やすり傳ふと云。さもま
るく。夢中不浄山（浄土）と云。同じ又別の居仲和が亭に
て雪舟志かき一など。法くとも。まじく。天
錫（清）天満宮と題し。無常說法顯神通。千里飛梅一
教松。万事皆醒。雲吐月。觀音寺裏一智鐘。とて。菅公
ハ仏理も違へ。夜おすとも。志れり。と云。雪舟が西の居仲
和の志せしこと。とも。より。れ合せてあやより傳ふ。や
○菅公自筆の像と云。画軸あり。とて。多く。思ふ。袍（衣）之かく。

是より。たり。より。上ら。ま。え。ハ。斐。波。く。に。位。上。の。人。思。ふ。を。平生
の。彼。と。す。ハ。は。ま。め。半。と。を。自。像。ハ。思。く。ま。へ。さ。い。く。も。こ
なり。是。ハ。後。を。斐。公。を。志。た。ひ。て。像。は。志。か。さ。あ。る。ひ。ち
斐。公。へ。を。さ。せ。し。の。辨。き。こ。ち。ま。う。る。一。

像と云。り。を。家。こ。小。あ。つ。き。る。ハ。斐。公。を。上。ま。て。に。司。る。温。公。ハ
村。学。生。ハ。斐。公。と。先。師。と。し。て。庵。山。小。て。も。雪。舟。あ。り。く。を。
夢。之。成。先。師。と。云。て。ま。つ。る。元。よ。り。て。ハ。先。て。孔。教。を
た。て。学。舎。を。ま。き。新。采。の。礼。成。を。こ。な。ひ。と。云。之。ハ
一生。浪。跡。地。へ。ゆ。く。を。何。も。先。師。と。い。ふ。小。也。

○諸葛孔明の甲冑（ヨロイ）せる圖（ず）は方小智。孔明（孔明）ハ白倫中（白倫中）鶴（鶴）毛表（毛表）。

白門鐘山城列名たり。超然志を林之志と云。琅琊中城。秦志と称し。皆世にも通せぬ半くと。容高四等小も。そしきり。安州と安功と称し。錦官城を錦城と云。其を。古より云たうはせわ。さもたうく。忠討よ。に。雅訓のみ。を。来とし。當時の人にも通せぬ名。城。記事。紀行。方。より。書。並。く。い。は。せ。よ。傳。ゆ。る。こ。も。な。き。也。後。所。なり。と。云。べ。し。又。詩。中。に。地名。乃。字。と。く。懸。對。を。屬。せ。し。宋。人。せ。し。東。坡。徳。子。の。詩。を。游。戯。と。せ。し。ゆ。か。が。家。と。多。し。を。暗。け。詩。人。の。詩。と。不。朽。の。業。と。こ。ろ。え。し。ゆ。旧。名。を。何。う。た。め。う。ゆ。る。と。い。は。せ。し。け。方。を。日。宋。詩。を。又。う。る。と。懸。之。歎。乃。

い。し。然。来。時。の。旧。名。城。く。り。ち。ゆ。る。ハ。宋。人。も。た。う。し。ひ。又。た。ま。く。懸。之。懸。對。ま。も。旧。名。を。用。か。た。る。と。バ。概。し。く。い。や。し。そ。し。れ。は。い。ふ。ふ。る。故。小。也。又。官。啻。稱。謂。也。は。か。た。ま。ご。み。だ。り。た。り。ま。も。多。し。范文。正。公。此。文。也。大。轉。運。使。を。部。刺。史。と。し。知。州。を。太守。と。し。尹。和。請。て。又。ハ。脱。俗。な。れ。と。も。出。對。け。官。たり。一。布。文。の。名。也。小。お。も。し。多。く。ハ。後。世。の。う。た。が。ひ。と。た。ま。と。も。多。れ。バ。范。文。正。公。喜。び。即。時。改。め。し。と。し。と。云。ふ。茂。嚴。滄。浪。詩。結。小。も。王。仲。宣。劉。公。幹。洪。子。也。稱。謂。正。一。か。ぬ。を。論。せ。る。甚。明。正。也。あ。は。せ。と。べ。し。ご。れ。と。盡。半。又。あ。づ。ら。ぬ。と。ハ。少年。學。志。る。を。た。と。し。と。

○唐土よりもち人の像とあやまの像へハ韓退之の像也。
 紗帽美髯なるハ韓熙載也。熙載ハ文清と謚江南の
 人ハ紳文とよぶ。退之とも紳文とも呼ぶとあやまりつゝ人
 たり。退之を孔教へ従事せし時ハ郡縣子ハ熙載像を用ひ
 一とて退之ハ肥て髯すくなりと又常熟方塔も小。青魘
 菩薩あり。赤髮蓋面小して口小巨蛇をぬくむ。その夜ハ
 張睢陽あり。張巡ハ忠憤を以て自らちかひ死して厉鬼
 となり。賊とやろばさんとやされし。厉鬼の像と云
 ○戴文進ハ秋江漁父圖をハドめて献せし時。衆画師ハねとて
 漁父の朱衣を志たる哉。そしててり。朝迄小りちの

らとび。松処士某ハ裁嵩が岡牛を養めしに牧童ハこゝろ
 あか。わ。一方の力ハ角よる。尾ハあま。この写へまき人
 べきに。尾をのげたるハ。岡牛小あ。びと。笑ひ。又吳道子。
 子路の岡小。木鈕をおひ。王知慎が梁人ハ。るよれ。岡立本が
 五昭君。帷帽をい。呉王斫鯉岡ハ。右衽と。こ。右人
 呼して。本劍ハ周子なり。梁人ハ車なる。帷帽ハ隋子始る。
 呉人ハ左衽と云。牧童ハ穎敏ハ賞す。板岡の典古
 かく。統とも画妙を論して。あづら。ぬ半
 りて。ハドめ。出せる。此方のあやされる。ひと。同日
 あり。漁父朱衣ハ。妄なる。そ。

木劍ハ南史子出つかりふ本まで伝ひ。新羅子丹ゆる録ん。
海討も防ぬとて。真の劍。請るの筆。武堂王。李牧の。
請射を習ハ一ありとあり。梁討小必なき小一もあつド。
又古公單父。東朝走馬ハ。請るなるんと。我友金峨山人云つり。
狩考証もありや

高陽先生著

一人 岩處和 抄録

西澤権助中郎

画譚雜助下

○楚石大伴像也。胡秋瑟ハ子愆急かくなカバツて。其之
化也秋瑟いぐせんと思ふありぬ。日本人かすくあり。
この國の祖はれ像として。こもくと買ひこめ。海うたれ
ハ秋瑟も定むをゆまるとも。
林之石ハ元帝小志とぐひ。北好一。かまていつ一の骨杖
うの之羊の子をばきり出せとて。侍を倦り一など。
素なる話も可きとも。け方一東り一筆もたつ。又
おひたぐ一く。かの来りたぐ。今むのこりあり。さふ
又ることあり。日本人といへるハ。北人ふていたまきや

画譚雜助

○毛文昌陳垣朱光晉左建等におほく村室の事を急ぐ。
村室入学田家娶女村落祀神村医村巫女等あり。
尹旣具ハ神仏真人と云。伎藝倡優とも凡そ人の足及ふ
事ハ急ぐ事一と云

け方菱川某英一蝶宮川長春和川祐佐の掌。藝技ハ
ねのくまとな事とも人習平生情態を急ぐ。有人
ハ彼飾種ハ一方ハ衣冠たかり。後世民俗西園小入ら
せゆハ小上右彼飾子急ぐ事。有山也。清人ハ服飾美
觀ハぬあり。粧西右彼子急ぐ事。去依家ハ人物と急
かくゆハ同振種ハ光信ハ画格高く。事急動逸神韻兼

優れり。後世の大和法家いつきも企およひかこ
○ぬ人の園い少ハ半満まで身成小莊重ハ後世ハ急
ほく急ぐハ劉頊激赫ハやまひを傳ふと云。この方あく
たけ長く急ぐハ或わさ哉町法風と云
町法ハ末画なるハ。奥巻逐末の流と有り。末ハ利のこ
なり。市中小て利とりと決て画かくりのといふあり
○界画ハ五代と云妙手あり。郭忠恕ハ其傑也。吳道子ハ界尺
成用わたり急ぐ事一と云
界画ハ入くみた家。横客を榭水急ぐ事一
○朱子て竹を急ぐハ东坡試院まで真到て墨筆急ぐ事一。

○西本... 一悔の心小悟好の不安... 歎生
 亦或失... 全局を捉えと古... 又... 花押と署
 せし徽宗... 弁... 押心...
 晋より... 文皇の... 真州と
 申の名... 押心...
 形模... 今のおとく... 集古録... 矣乎
 難... 五代... 相... あり...
 ○趙子昂... 作... 書... 惟... 院... 未
 我乃作竹石... 此... 又...
 庭志山の... 小... 文... 子...

後小撮院の圖を附... 十文小楷琴院... 画ハ書
 り書ハ画よりたがひ小注... あり...
 拙き詩を題しある... 小... 記... したる
 印て西乃き... 自題... 非... 每題
 と古人... 書... 没字碑...
 け方上古の画人... 宋...
 の... 中... 画...
 ○米氏画史... 目... 賞...
 と好... 眼力ありてこのむ... 賞...
 沈氏... 画の善... 人... たりて...

身シカン全と云甚シカい法のハフ上成ウヘニナリなり。指サシ小コさスりクぬスをス乃ノ多タくクひヒをス揣チ骨ボネ性セイ智チと云

○唐土トウツより画エ作サシをスあラたシたシ何ナニのノ用ヨウゆキにニ試シ目メとシてテ乃ノ強キヤウ等トウのノ句コトをス題テイとシてテあラかラしメ何ナニ才サイ成セイとシてテ詠エイむスことト詩シ句コト小コ行コウ鎖サ榜ボウ遠エン賣バイ海カイ家カのノ句コト小コ竹チク林リン上ウヘ一イツ漢カン帝テイをスうウりリ成セイおオいイ以イ鎖サのノ二ニ字ジとシ活カクしシ踏トフ花ハナ歸キをス馬ウマ蹄テイ香カウ小コ三サン律リツ小コ深シンをスてテ香カウ小コ字ジ之シゆユ嫩ニ綠リツ枝シ頭トウ紅コウ一イツ点テン似ニ人ジン春ハル色シキ不フ須ス多タ小コ范ハン亭テイ外ガイ綠リツ柳リュウ相サウ映エイしシ柳リュウ干カンにニ美ミ人ジンをス忍ニくク解カイ語ゴをスのノ意イ又マタくク胡コ蝶テイ臺ダイ中チュウ家カ万マン里リ杜ト鵝ガ枝シ上ウヘ月ゲツ三サン更セイ小コ菴アン武ブ羊ヤウをス技キひヒてテ引ヒたるス小コ双ソウ蝶テイとシてテ一イツ樹ジュ上ウヘ小コ子シ規キ午ウ月ゲツ成セイるル皆カヘ才サイ事ジ亦オト法ホフ也ヤとシてテ

看カン選セン小コ入ニりシ

試シ目メとシてテ小コ学ガク生セイ也ヤ。文ブン才サイ成セイとシてテあラむス試シ目メとシてテ本ホン以イ後ゴ画ガク文ブン小コもモ是シをス用ヨウ也ヤ。文ブン才サイはハくクなナりシ也ヤ。画ガクさサもモ俗ソク也ヤ。元ゲン本ホンのノ画ガク一イツ塗ツ小コてテ詩シをス唱テウ声セイ画ガクとシてテ画ガクをスいイてテ画ガク人ジンをスうウりリつツ小コ鐘チュウ馘ゲツ○高カウ鍾チュウ馘ゲツをス三サン教ケウ趙テウ播ホ臺ダイなナどトいイてテ画ガク人ジンをスうウりリつツ小コ鐘チュウ馘ゲツ一イツ團タンとシてテ趙テウ播ホ臺ダイはハうウりリ成セイかカくク小コ長チャウとシてテあラむス侍シ人ジンもモ名ナをスいイりリとシてテかカくク名ナつツけケよヨひヒたタるル。友ユウ人ジンハハ門モン画ガクとシてテ一イツ乳ニのノ畫エ小コ妙ミョウ也ヤ。おオほホしシ。けケ方ホウ門モン画ガク家カハハ鳥トウ羽ウ僧ソウ正テイのノ人ジン物モノ。光クワウ琳リン宗ソウ遠エン乃ノ艸ソウ花カ眉メイ同ドウ直チカク毛モウ珪ケイ南ナン也ヤ。水スイのノ之シ狸リ也ヤ。澁セイ也ヤ。鯉レイ也ヤ。後ゴ言ゴン也ヤ。小コ六

遠慮古洞乃。大石神。松む堂の布袋守を時を梅
竹山ぬおよ。専門名手おほくしり

○張操ハ左右好手小器をり。樹枝浅急かさわつてお。
王輝ハ左手小て急かく。人々。左手王と云し。戚仲趙廣も左手之
け邦左轉の人あり。善書ハたましく。まけども。画ハきり。け
劍工服工ハ左某も。ハ左手と云し。小や。又ハ姓。乃るや。京師
の傍。聞中祥師ハ喜孺皮法浅えて朱印版刻りたく。
たのり。友之。向き。二三顆をえぬたり。甚精良之
け方。て。手。とは。り。云。又。手。法。墨。蹟。と。云。ハ。書。の。ま。れ。筆
と。思。ふ。人。あり。さ。小。ハ。あ。く。し。な。お。ま。て。ハ。誰。某。が。手。又。ハ。誰。某

○法。墨。蹟。と。云。ハ。ま。よ。し。画。小。も。遊。し。て。ま。書。の。精。子。も。志。し
ありと志すべし

○真行草と云ハ書家の名目也。画家ハ。墨。蹟。小。ありて。お。
小。名。も。て。真。行。草。と。云。ハ。ま。よ。し。又。細。巧。人。物。画。を。て。是。ハ。一。法。
法。と。云。人。も。巧。西。と。ハ。ま。よ。し。は。と。人。も。ま。よ。し。と。細。筆。小。て。い。く。も。
す。お。を。引。き。ま。ぬ。り。や。う。ぬ。そ。く。小。せ。る。画。の。事。小。く。お。く。ん。た。
板。法。の。た。ぐ。ひ。を。云。細。巧。画。の。事。ハ。あ。く。し。

○画ハ。和。皇。賢。道。釋。人。物。の。勅。戒。ある。と。第一。と。山。ぬ。ハ。無。窮
の。類。ある。銭。さ。よ。画。家。十三。科。ハ。此。次。算。あり。其。余。士。女。花。果。
貴。游。戯。園。ハ。雅。玩。小。あ。く。し。と。古。人。云。へ。り。貴。游。と。ハ。さ。き。家

富に宴遊也。繁華なる園也。戯園とい。一毎ありて。おしき。
 ねつけたる園也。是ら俗人の目小。もむこき家なると云。
 りて。えやそことなれど。言家いやりて。雅人のりて遊。
 小。なるぬ成云。け方小也。之曰十。あハ。三。扱。対。中。小。
 道。輝。も。目。ひ。し。今。ハ。周。漁。津。先。生。乃。園。小。蓮。あ。里。と。く。
 い。と。嬉。ふ。虎。ハ。子。里。行。く。千。里。扱。と。て。婚。娶。還。ま。い。む。
 たりとい。り。

虎ハ百里出きハ道小よよゆハ遠くハ出ずと云事
 倦游雜録小も出つ子里りハ云ハ云ハ

○九朽一^{キウクイチ}能と云ハ人物画ハ髣髴と云ハされハ戯筆と云て

品の入らきゆハ小柄成だも用ハ成と云このハ云こめて後に
 一たひりすみと用おて急うきハハむ家成かく云つり
 朽ハ云き等也。土^{ツチ}等とも。腐^{クサ}等とも。柳^{ヤナギ}炭とも云。夜人ハ
 石^{イシ}等^ト云くハ。世^ヨに^ニ用^ユの^ノ銷^{セウ}と云。こく^{コク}と云ハ。幘^{カサ}と云
 ○書画の^{シヨウガ}積^{ツク}具^グと云。美^ミ小^コハ。ハ。范^{ハン}擘^{ハク}ハ。一^{イチ}塊^{クワイ}ハ。軸^{シヨク}ハ。金^{キン}銀^{ギン}珠^{シュ}玉^{ギョク}
 ハ。たりて。扱^{セツ}と云。扱^{セツ}と云。角^{カク}ハ。温^{オン}と云。引^{ヒキ}く^ク。檀^{タン}香^{カウ}と云。一^{イチ}。香^{カウ}香^{カウ}
 小^コて。り^リ。小^コ。臺^{ダイ}と云。唐^{タウ}時^ジハ。宋^{ソウ}。後^ゴ。標^{ヒョウ}。首^{シュ}。紅^{コウ}。綾^{レイ}。引^{ヒキ}。首^{シュ}。冊^{ソク}
 翻^フ。軸^{シヨク}。小^コ。て。就^{ジウ}。纏^{テン}。け^ケ。と云。く^ク。と云。り^リ。一^{イチ}。と云。奇^キ。然^{ゼン}。ハ。後^ゴ。代^{ダイ}。記^キ。考^{コウ}。證^{テイ}。と云。
 宋^{ソウ}の^ノ。時^ジ。の^ノ。後^ゴ。ハ。一^{イチ}。に^ニ。全^{ゼン}。編^{ヘン}。ハ。羅^ラ。縹^{ヒョウ}。水^{スイ}。晶^{セイ}。軸^{シヨク}。方^{ハウ}。り^リ。と云。あ^ア。れ^レ。ハ。
 け^ケ。方^{ハウ}。ハ。け^ケ。時^ジ。也^ヤ。程^{テイ}。を^ヲ。時^ジ。好^{コウ}。当^{テイ}。小^コ。なる^ル。ひ^ヒ。し^シ。小^コ。や^ヤ。宋^{ソウ}。ハ。奇^キ。然^{ゼン}。ガ。年^{ネン}。代^{ダイ}。記^キ。

しん。け方流荒よまけ帝流とあるせるハ文献通考にも載たゆ
又康熙字典喬字注ハ日本僧喬然を引けしき

○右ハ堅板ノ模倣ハ米元兼ハ一めんみくして人のくこ
いづし奴者みせり挂幅の風常ハりと燕の巢をひて沈
小くけいん紙にとき白紙と二條たれゆく燕をおとせし
史ゆへ者士まてハ警燕と云又屏侍は丸角團扇いろく
たちらけく張る紙氷割紙碎故と云又唐画はすれのとき
物として物をすまいたるを意かく是ハ帙ハ不後ハ
産時ありこらく養子とせり書冊の上とけくめとせハ外
と云又まのなる米の上よ喜をのせてよし右團扇ハ沈檀

書充経校詔もさるモ心燈ハ凡葉外ハまがさる柏樹の
と小画古團扇もまじし杜詩ハもさるといつ

○画ハ皮ノ襖ハすくられ又まらあらふらうも西村
換をかすくれそこ糸もも切さるもしておぼふたご
たのハ一むべ一又古画ハほのほのとぬるゑふたくり
五月八月あるハえ出し望まかけ風を入き画は封一
紙よけてまけしけ二候とすまなハ開きてかく一古画ハ
五日何とづかくべ一久しくかくまハ遠城引く巻紐も
やいろうたの紙を用ひしれく巻きねむべ一
い方まで森黄と雌黄と云とも雌黄ハ石よりて用ゆ

一、及び黄小そめぬを。白紙と云うは心堂紙もあらず。染紙して
柔く。これハ今の毛紙といふなり。今ハ毛紙は好く。紙小て是
き。あろ。六朝。もふくさ紙。画。い。し。流。り。と。う。紙。用
た。に。雲。林。の。流。生。流。一。と。う。き。ふ。世。所。此。流。と。遊。る。者。の。章
存。標。画。屏。風。に。雨。滴。膠。山。断。月。の。画。紙。秋。ハ。こ。う。さ。い。方。中。條
と。う。さ。紙。子。急。う。や。ゆ。と。紙。お。ハ。と。う。さ。紙。画。も。ん。出。て。日。本。人。の。法。
色。を。用。ゆ。甚。お。り。と。う。さ。し。も。か。る。画。法。か。う。い。ふ。

○古人も紙画さい。こ。う。さ。か。み。ま。い。墨。糸。ひ。かり。て。土。筆
た。り。好。く。紙。ハ。墨。路。外。に。し。ゆ。色。角。を。つ。さ。く。と。紙。水
小。ひ。た。し。黄。て。う。は。す。と。紙。紙。く。紙。ハ。川。さ。か。ハ。う。明。紙。紙。

湯小たて。その上。け。き。か。ハ。う。て。急。り。け。ハ。墨。糸。ひ。かり。な。り。又
墨。へ。世。物。を。入。ま。て。判。紙。一。並。き。或。ハ。秦。皮。を。あ。ふ。ひ。た。し。墨。を
と。す。り。を。ど。り。て。ぬ。く。と。紙。一。急。か。き。に。し。ぬ。法。あ。ま。と。も。用
ゆ。と。紙。紙。く。さ。紙。墨。画。に。ど。り。て。風。致。あ。り。さ。も。た。く。ハ。
阜。角。帝。小。く。よ。ろ。し。ま。え。

○け。き。小。死。し。て。又。ち。う。ぬ。人。を。も。魂。と。む。久。流。小。う。し。像。を
急。と。又。畫。圖。畫。紙。子。紙。之。入。かり。或。ハ。急。と。急。と。急。と。急。と。
の。羣。鳥。と。よ。び。そ。外。佛。像。より。光。紙。を。あ。ち。舍利。を。生。せ。し。
あ。く。画。紀。小。も。僧。傳。小。も。ゆ。時。西。妙。子。ハ。あ。く。流。て。邪。術。乃
た。ぐ。か。た。る。べ。し。又。流。紙。面。小。佛。像。水。急。か。き。い。う。何。と。み。が。き。て。も。

その画はきえぬ茶法ありて古今医統小といつ

明の万曆帝小利瑪竇より小若西洋十万里をなきてきたり

天主教十字架と云ふことをおこなひ君民の心試みたりと

云々。術西よりきたる馬鞍をより。靴天園。新尾車。遠鏡。

候鐘。天衣。水の奇器。けしき。て。持ありしと云。又利が

あゝハセる。天主實義。友論水の書ありと云

○生うつハおらんたよるはなり。志多に。本亦五百距離持

花物。むろ二幅のごときハ。今ハかのむも。急ぐに。たすし。し。純

小て。法を。と。紙ハ。急ぐ。絹布。急ぐ。ゆ。急ぐ。小

てハ。蠟。絹。画。よ。尉。逢。し。借。ハ。急。時。の。法。画。作。と。急。く

を。め。ハ。画。の。内。り。り。き。く。肉。あり。て。見え。し。と。云。又。ハ。画。小。ハ。人物
ま。づ。五。統。と。急。ぐ。と。ぼ。は。全。身。と。急。か。さ。ふ。と。り。日。に。映。り。て。
隠。然。と。して。は。く。わ。く。見。ゆる。も。き。と。そ

○加賀のそめ画はたくと。おしむらく。園松。佳。なる。す。く。は。し。
夜。土。小。ハ。海。画。ハ。急。ぐ。と。綺。绣。刺。绣。克。練。等。ハ。説。死。法。急。に
か。出。つ。び。方。を。日。か。け。り。の。画。を。お。り。出。し。て。妙。と。上。古。ハ。中。お。姫。の
ま。ん。だ。り。綺。绣。た。く。と。

○濠洲南楚才。妻薛。後。ハ。林。才。旅。游。し。て。か。つ。さ。り。の
一。う。バ。角。く。容。越。急。ぐ。と。欲。下。丹。青。手。先。拈。宝。鏡。端。已。經
顔。索。莫。漸。覺。鬢。凋。殘。淚。眼。描。將。見。絲。腸。寫。出。難。恐

君渾忘卻時展画圖、看と題して、よおれくふ。林とすを
 そを見。志意風流。情義傳紙をかんと。やくてありて。あひ
 ともたのひしと。又河内僧崔微ハ。裴叔中ハ。使志とく。蒲
 中よゆ。崔をよひて。相たのしむける。職事おりて。故々へ
 小。崔ハ。さくひんへき。道もなく。うらみ。病子卧し。
 自ら魚を烹し。崔一旦不心。卷中人矣と題して。巻解しとぞ。
 け方五糸河ハ。ぬくく。人の。ハ。く。善信なかり。うらみ
 魚と。火焰の中に煮ると。歌一首。虫つく。巻紙をひたす。く
 身を。やくと。た。焼おほく。れ。の。小。そ。有。り。絶。情。固。意。い
 はく。小。も。傳。ふ。志。く。あ。ぐ。五。釋。登。ハ。仇。英。ガ。女。ハ。西。半。城。替。置。

繪りて。律之女行。厥亦牝鷄之晨。といま。めたる。書経小。
 牝鷄ハ。先立て。何。た。と。は。くる。ハ。家。の。お。は。ぶ。と。も。よ。り。云
 へ。け。る。ハ。女。ハ。中。饑。を。は。く。と。る。汲。小。て。肉。を。ち。り。食。物。を
 彼の世話を。第一とすへきに。詩歌連俳書画。も。も。学。小。ハ。風
 流。と。ゆ。ゆ。と。と。生。人。ハ。花。小。さ。う。傍。子。な。り。男。子。ハ。あ。を。と。り
 なく。女。性。浅。う。く。た。も。よ。お。ほ。く。狭。橋。雜。記。小。管。夫。人
 乃。竹。石。卷。小。吾。竹。房。ハ。好。姦。子。ハ。中。代。は。ら。さ。は。り。お。り。たり
 是。ハ。お。ー。あ。や。ま。り。ー。や。と。云。ふ。小。子。男。見。ん。女。の。方
 みて。か。る。画。半。ハ。好。姦。子。ハ。中。代。は。ら。さ。は。り。お。り。たり
 ぬ。と。云。へ。い。ま。ー。め。ふ

いづれも同一也。一家法小法入とあるも多し。古人も画ハ
 古き哉と云ふ。古きをたはたたくことなるも蓋なりといふ也。
 古名も小目を付け。字バズして古きあるべき振なり。又
 むに古きを学ぶと云哉。ちがひ甚しきハ。俗世家もわゆる
 七十二点例のときとこしらへ。筆法傳授など云へハ。弟子ハ
 いよく。指図なる筆づりひをて。古より其家法と云。蓋乃
 筆韻ハ。游心小めと法くと云ふ。かゝる拘泥なる筆小て。向と
 好道哉。けけんや。是ら其西法ハ。学びゆるはと。俗了すこ
 とふ。古人画論好肯をも解せと。其とけ方小物とに
 秘事傳授と云を好む風と定る人もはふことや。まゝにひ。

云せせるといゆ。又書とよと遠き小行つされハ画ハ俗筆と
 て遠きたなりと。古人云つめ。宋の趙大車ハ。画たくと云。唐人
 宗室も。遠くいづることなく。山陵小報す。道す。と
 れ景のそと。又書哉。多くよまぬゆへ。俗業ありと云つめ。
 不行。万里道不瀆。万卷書して。画祖となつることハ。かこ
 と云つり。明ハ唐寅ハ。周臣ハ。画と学ふ。西格ハ。周長ありと云。
 胸中に板千巻のちあるゆへ。宋の鄭剛中ハ。唐の鄭虔
 と。蘭立本と評して云。二人同一と名画也。鄭虔ハ。学才よく。
 法儒と評し。画も真到て。物象胸中に入り。字と字す。立本
 ハ。幼少と云。画めきたし。又字のまこと。えかき。市の苑遊みる

易足流傳。但直筆獨斷。間於時好。迺是家庭警誨也。恐引世君子之譏議。不若止之為勝。用請者數次。遂與焉。岩生亦豈難助視之耶。

乙未之春

高陽山人仲達紳

松雲山房藏版

安永乙未冬十月

寬政丁巳秋八月求版

荏土

日本橋南三丁目

前川六左衛門

